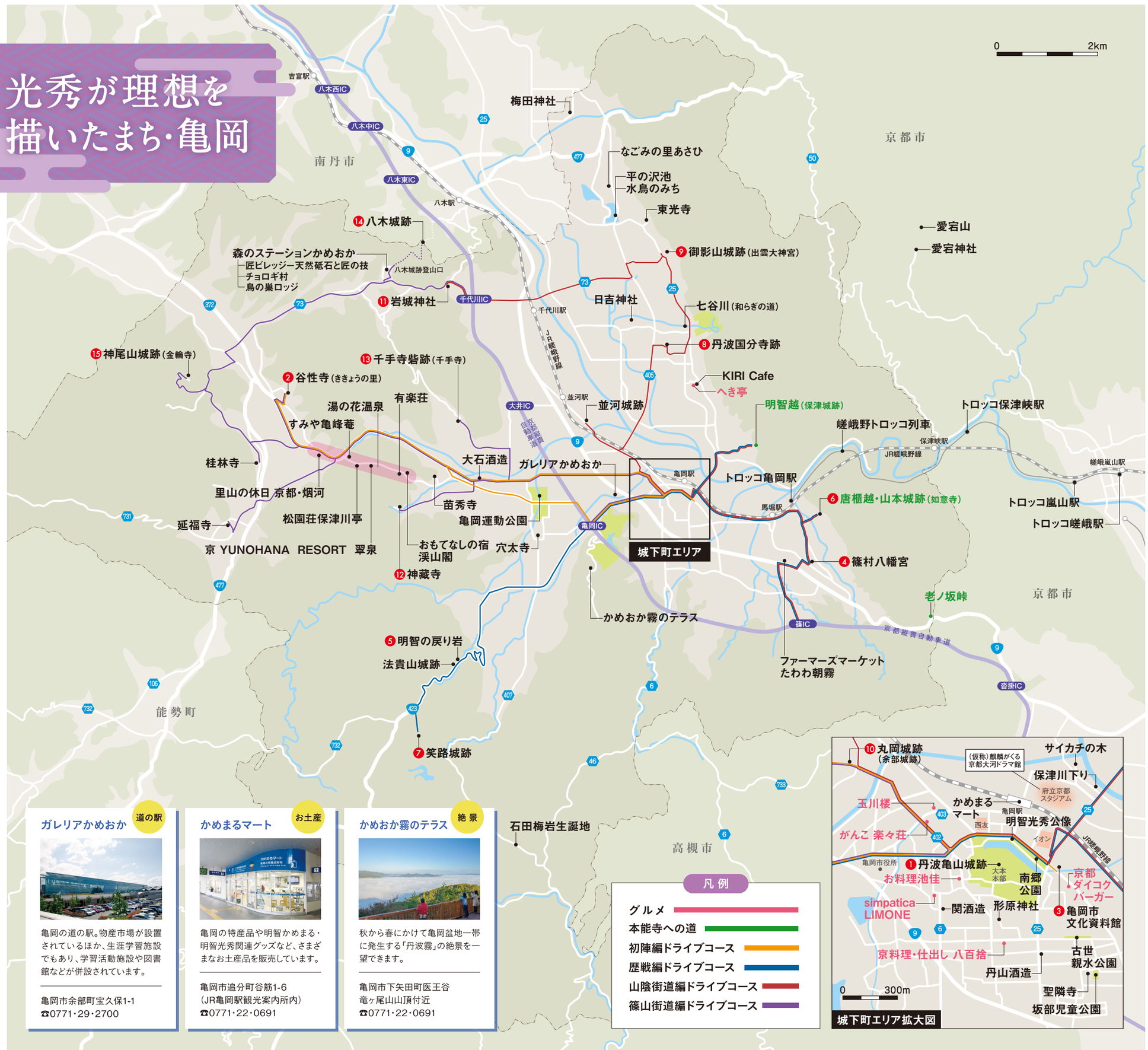
光秀が理想を描いたまち・亀岡



ガレリアかめおか　道の駅

亀岡の道の駅。物産市場が設置されているほか、生涯学習施設でもあり、学習活動施設や図書館などが併設されています。

亀岡市余部町宝久保1-1
☎0771・29・2700

かめまるマート　お土産

亀岡の特産品や明智かめまる・明智光秀関連グッズなど、さまざまなお土産品を販売しています。

亀岡市追分町谷筋1-6
（JR亀岡駅観光案内所内）
☎0771・22・0691

かめおか霧のテラス　絶景

秋から春にかけて亀岡盆地一帯に発生する「丹波霧」の絶景を一望できます。

亀岡市下矢田町医王谷
竜ヶ尾山山頂付近
☎0771・22・0691

亀岡三大観光

四季折々の渓谷を下る船旅　保津川下り

江戸時代から続く日本最古の舟下りである「保津川下り」は、熟練の船頭の手で操られた船が亀岡から嵐山までの美しい自然の中をスリル満点にすり抜けていきます。

Tel. 0771・22・5846
HP https://www.hozugawakudari.jp/
※12月29日～1月4日は運休、雨・増水により運航中止となる場合があるため、詳しくはホームページをご覧ください。

大自然を駆け抜ける列車旅　嵯峨野トロッコ列車

JR山陰線の旧線を利用した、クラシカルなカラーリングの嵯峨野トロッコ列車の最終車両（5号車）「ザ・リッチ号」は、窓ガラスが無く、風・音・光を肌で感じながら渓谷を走ることができます。

Tel. 075・861・7444（テレフォンサービス）
HP https://www.sagano-kanko.co.jp/
※12月末から2月末までは冬季休業のため、詳しくはホームページをご覧ください。

武将の傷をも癒す京の奥座敷　湯の花温泉

亀岡の澄んだ空気と大自然の山々に囲まれた湯の花温泉は、戦国時代に武将の刀傷を癒したとの逸話が残る名湯です。旬の味覚も堪能でき、心温まるおもてなしで出迎えてくれます。日帰り入浴も可能。

Tel. 0771・22・0691（JR亀岡駅観光案内所）
HP http://yunohana-onsen.com/

明智光秀ゆかりの地 ドライブコース

戦国乱世の中、明智光秀は天正3（1575）年に織田信長から丹波へ進攻するよう命じられ、この丹波の地・亀山（亀岡）にやって来ました。光秀は「家中軍法」なるものを確立し、軍団の秩序と規律を明確にさせたり、治水工事や領民の税負担を軽減させたりしたことで、「名君」として慕われていました。そんな光秀が人生最期まで過ごし、自らの理想を描いたまちである亀岡のゆかりの地を巡り、往時に思いを馳せてみませんか？

※1　駐車場の事情により車窓からのみの個所があります。
※2　駐車については、許可が必要な場所があります。
※3　大型車の通行困難な場所もあります。

人気のハイキングコース！ 明智光秀 本能寺への道

明智越（あけちごえ）

愛宕山へ登るルートを明智光秀が本能寺へ向かう際に通ったとの説もあるが、一般的には愛宕山へ参詣するために通ったことから、この名が付いたされている。入口は保津城跡でもある。

亀岡市保津町
☎0771・22・0691（JR亀岡駅観光案内所）

唐櫃越（からとごえ）

明智光秀が本能寺へ寄せた際、この山を行軍したとされる。「惟任越（これとうごえ）」と言ったのが訛って「からうと」となったと伝わる。入口は山本城跡でもある。

亀岡市篠町
☎0771・22・0691（JR亀岡駅観光案内所）

老ノ坂峠（おいのさかとうげ）

明智光秀が本能寺の変へ向かう際、明智越えや唐櫃越ではなく、丹波国と山城の国の国境付近にあるこの老ノ坂を通ったという説もある。

亀岡市篠町～京都市西京区
☎0771・22・0691（JR亀岡駅観光案内所）

初めてじっくり… 光秀を巡る初心武者コース　初陣編

所要時間（目安）3時間
［移動時間約1時間＋城下町散策約2時間］＋見学時間

亀岡IC（京都縦貫自動車道）
↓ 約10分
丹波亀山城跡
↓ 約1分
亀岡市文化資料館
↓ 約5分
丸岡城跡（余部城跡）
↓ 約20分
谷性寺
↓ 約20分
亀岡IC（京都縦貫自動車道）

① 丹波亀山城跡（たんばかめやまじょうあと）

天正5（1577）年頃、丹波進攻の拠点とするために明智光秀が築城し、本能寺の変の際はこの地から出陣したとされている。明治10（1877）年には、廃城令により天守が解体されたが現在も石垣などの見学が可能。

亀岡市荒塚町内丸
☎0771・22・5561〈大本本部〉
※見学の際は大本本部の総合受付にてお申し出ください。

② 谷性寺（こくしょうじ）（ききょうの里）

別名「光秀寺」とも言われており、明智光秀の供養のため、祀られた首塚がある。丹波亀山城下町にあった門も移されている。毎年6～7月には、明智の家紋である桔梗が咲き乱れる「ききょうの里」が門前で開園する。

亀岡市宮前町猪倉土山39
☎0771・26・2054

③ 亀岡市文化資料館（かめおかしぶんかしりょうかん）

亀岡に残る縄文時代から現代にかけての歴史・文化に加え、これまでの亀岡のあゆみについて、資料を展示・公開している。

亀岡市古世町中内坪1
☎0771・22・0599
休館日／月曜日　開館時間／9:00～17:00

深くもう一度… 光秀を巡る熟練武者コース　歴戦編

所要時間（目安）3時間30分
［移動時間約1時間30分＋城下町散策約2時間］＋見学時間

篠IC（京都縦貫自動車道）
↓ 約5分
篠村八幡宮
↓ 約3分
唐櫃越・山本城跡（如意寺）
↓ 約20分
明智越（保津城跡）
↓ 約15分
城下町エリア
（丹波亀山城跡など）
↓ 約20分
明智の戻り岩・明智橋
↓ 約10分
笑路城跡
↓ 約20分
亀岡IC（京都縦貫自動車道）

城下町の街道

④ 篠村八幡宮（しのむらはちまんぐう）

本能寺の変に向けて丹波亀山城を出発した約1万5000人の明智軍が集結し、戦勝祈願をしたとされている。また、この地は室町幕府初代将軍の足利尊氏が鎌倉幕府討幕のため挙兵した場所とされている。

亀岡市篠町篠八幡裏4
☎0771・24・6395

⑤ 明智の戻り岩（あけちもどりいわ）

羽柴秀吉の援軍のために出陣した明智光秀がここから引き返して織田信長を討つために本能寺へ向かった説もあるが、笑路城を攻める際、この大岩に行く手をさえぎられ引き返したことから、明智の戻り岩と呼ばれるようになったと伝えられている。

亀岡市曽我部町法貴明智岩
☎0771・22・0691〈JR亀岡駅観光案内所〉

⑥ 山本城跡（やまもとじょうあと）（如意寺）

宇野豊後守秀清の位牌が祀られている。明智光秀が信長に謀反を企てた時、秀清は光秀に助力を求められたが、逆に光秀を諫めたため、その後、暗殺されたとされている。

亀岡市篠町山本南条66
☎0771・22・0691〈JR亀岡駅観光案内所〉

⑦ 笑路城跡（わろうじじょうあと）

明智光秀が丹波攻略の際、長沢氏の居城とされる笑路城を度々攻めたが、非常に堅固な城であったという。

亀岡市西別院町笑路
☎0771・22・0599〈亀岡市文化資料館〉

丹波攻略への道を巡る 戦勝祈願コース　山陰街道編

所要時間（目安）3時間30分
［移動時間約1時間30分＋城下町散策約2時間］＋見学時間

篠IC（京都縦貫自動車道）
↓ 約5分
篠村八幡宮
↓ 約3分
唐櫃越・山本城跡（如意寺）
↓ 約20分
明智越（保津城跡）
↓ 約15分
城下町エリア
（丹波亀山城跡など）
↓ 約20分
並河城跡
↓ 約20分
丹波国分寺跡
↓ 約10分
御影山城跡（出雲大神宮）
↓ 約15分
岩城神社
↓ 約2分
千代川IC（京都縦貫自動車道）

⑧ 丹波国分寺跡（たんばこくぶんじあと）

天正6（1578）年4月、丹羽長秀が織田信長の命をうけ、明智光秀と協力して荒木氏を攻めた際、伽藍が焼失したとも伝わる。塔跡の礎石に残る矢穴は、明智光秀の亀山城築城の際のものとする説もある。

亀岡市千歳町国分桜久保25
☎0771・25・5068〈亀岡市教育委員会〉

⑨ 御影山城跡（みかげやまじょうあと）（出雲大神宮）

明智軍の進攻に際し、国衆が防戦したとされ、現在も曲輪や堀切が残存している。御影山の麓に位置し、この山を御神体とする出雲大神宮は縁結びで有名。

亀岡市千歳町千歳出雲
☎0771・24・7799〈出雲大神宮〉

⑩ 丸岡城跡（まるおかじょうあと（あまるべじょうあと））（余部城跡）

元は福井因幡守貞政の居城だったが、明智光秀が福井氏を破った後から丹波亀山城が築城されるまでは、丹波地域随一の軍事拠点であった。

亀岡市余部町古城
☎0771・24・4738〈方行山西岸寺〉

⑪ 岩城神社（いわしろじんじゃ）

永禄2（1560）年に明智光秀が内藤氏の居城である八木城へ攻める際、ここで戦勝祈願をしたとされている。

亀岡市千代川町北ノ庄穴虫42
☎0771・22・5066〈大井神社〉

丹波攻略への道を巡る 山城進攻コース　篠山街道編

所要時間（目安）5時間
［移動時間約3時間＋城下町散策約2時間］＋見学時間

亀岡IC（京都縦貫自動車道）
↓ 約10分
城下町エリア
（丹波亀山城跡など）
↓ 約60分
千手寺砦跡（せんじゅじとりであと）（千手寺）
↓ 約40分
神藏寺
↓ 約20分
延福寺
↓ 約15分
谷性寺
↓ 約10分
桂林寺
↓ 約10分
神尾山城跡（かんのおさんじょうあと（きんりんじ））（金輪寺）
↓ 約20分
八木城跡
↓ 約5分
岩城神社
↓ 約2分
千代川IC（京都縦貫自動車道）

⑫ 神藏寺（じんぞうじ）

鎌倉時代には28棟もの僧坊を有する大寺であったが、天正3（1575）年に明智光秀の兵火によって焼失したと伝わる。このとき本尊と両菩薩を菰につつんで山の奥へ隠したと伝わる。源頼政ゆかりの寺でもある。

亀岡市薭田野町佐伯岩谷ノ内院ノ芝60
☎0771・23・5537

⑬ 千手寺砦跡（せんじゅじとりであと）（千手寺）

八木城を拠点とする内藤氏との戦で、明智光秀がここを拠点としたと言われ、天正7（1579）年6月に兵火にあって寺院の大半が破損したと伝わる。境内の上には砦跡があるとされる。

亀岡市薭田野町鹿谷大タワ7
☎0771・23・1434〈千手寺〉

⑭ 八木城跡（やぎじょうあと）

丹波国三大山城の一つ。当初は、守護代内藤氏の丹波国の臨時的拠点であったが、その後、明智光秀が入り、内藤氏・宇津氏討伐の拠点としたとされる。

亀岡市宮前町神前一南丹市八木町八木
☎0771・22・0599〈亀岡市文化資料館〉

⑮ 神尾山城跡（かんのおさんじょうあと）（金輪寺）

神尾山城は、大永年間に柳本賢治や波多野氏が籠城していたが、その後、明智光秀が天正年間に多紀郡八上城攻めの中継地として「神尾山城」を使った。現在はハイキングコースでもある。

亀岡市宮前町宮川神尾山
☎0771・22・0599〈亀岡市文化資料館〉